

地域共生社会の実現に 向けた取組報告

鹿児島県鹿屋市



社会福祉法人鹿屋市社会福祉協議会

鹿屋市の概要

【位置】鹿屋市は、本土最南端へと伸びる大隅半島のほぼ中央に位置し、大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点となっています。

【地勢】市域北部には、日本の自然百選にも選ばれている壮大な高隈山系が連なり、市域北東部は山林地帯となっています。また、その南側には、国営第1号の畑地かんがい施設をもつ笠野原台地や肝属平野が広がり、市域中央部にかけて平坦地が続いています。市域西部は、錦江湾に面しており、美しい海岸線が見られ、さらに、市域南部は、神代三山陵の一つである吾平山上陵を有する山林地帯となっています。

【面積】総面積：448.33km²

【人口】101,737人 令和元年6月1日現在
45,691世帯





地域ぐるみの活動について
「鹿屋市泉ヶ丘町内会」

泉ヶ丘町内会の概要

【人口等】

- 人口 : 576人
- 65歳以上 : 136人
- 高齢化率 : 23.6%
- 世帯数 : 274世帯

(R1.6.30現在 / 鹿屋市ホームページ)

【特徴】

- ・市営(90戸)県営住宅(51戸)がある。
- ・昔の長屋型の市営住宅居住者がマンション型に移り、高齢化している。
- ・県営住宅には若い世帯が多い。

昔の市営住宅(イメージ)



県営住宅



市営住宅



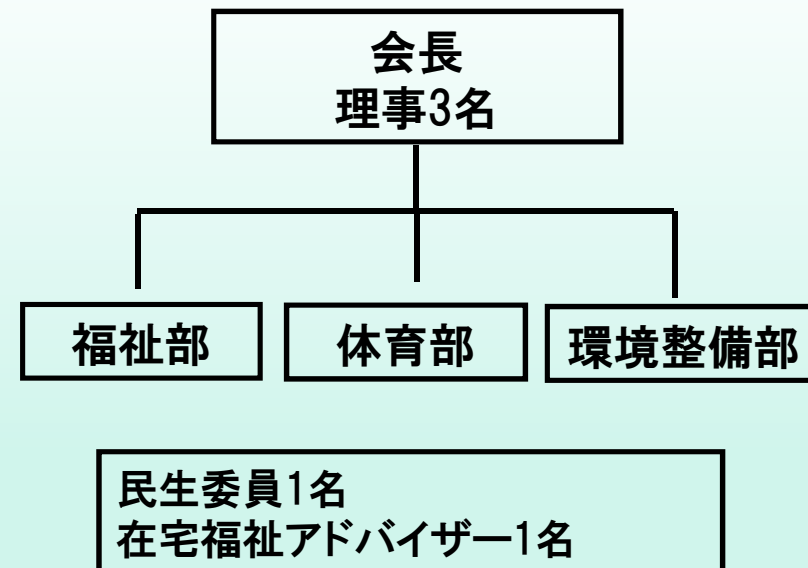
一からの組織づくり



【町内会の組織作り】

平成26年度町内会長に就任後、2年間でそれまでなかった町内会の理事・部会制度、見守り隊の結成、高齢者クラブ創設、3世代交流イベント等、住民主体の地域づくりを行ってきた。

【町内会の組織】



見守り隊結成までの流れ

地域での孤独死→“地域での悲しい出来事を未然に防ぎたい”

町内会でアンケートを実施→“孤独感を感じる高齢者が多い”



支え合いマップづくりを実施→“把握できていない住民情報もあった”
(市営・県営の集合住宅が多く把握が困難であった)



地域住民へチラシを作成し、活動の周知を行う



「泉ヶ丘ふれあい隊」の結成



活動開始時は、名刺代わりにポケットティッシュを配布



月1回定例会を行い情報交換を行う

アンケートの実施

昔は長屋で地域のつながりも深かった…
マンション化により住民同士のつながりが希薄化…

“地域の声を聴いてみよう！！”→住民アンケート実施

・町内に住む65歳以上の高齢者を対象に実施

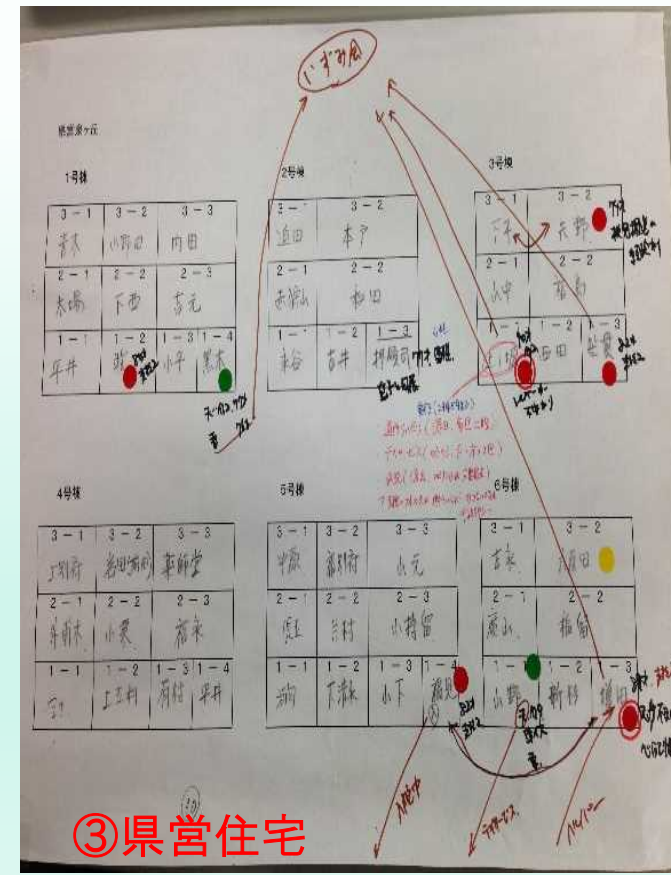
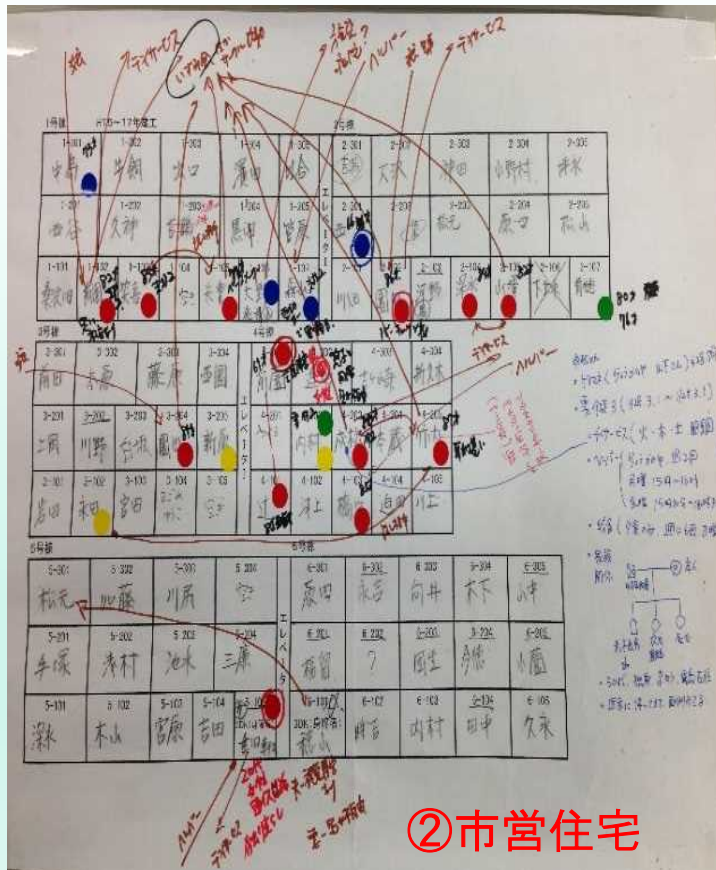
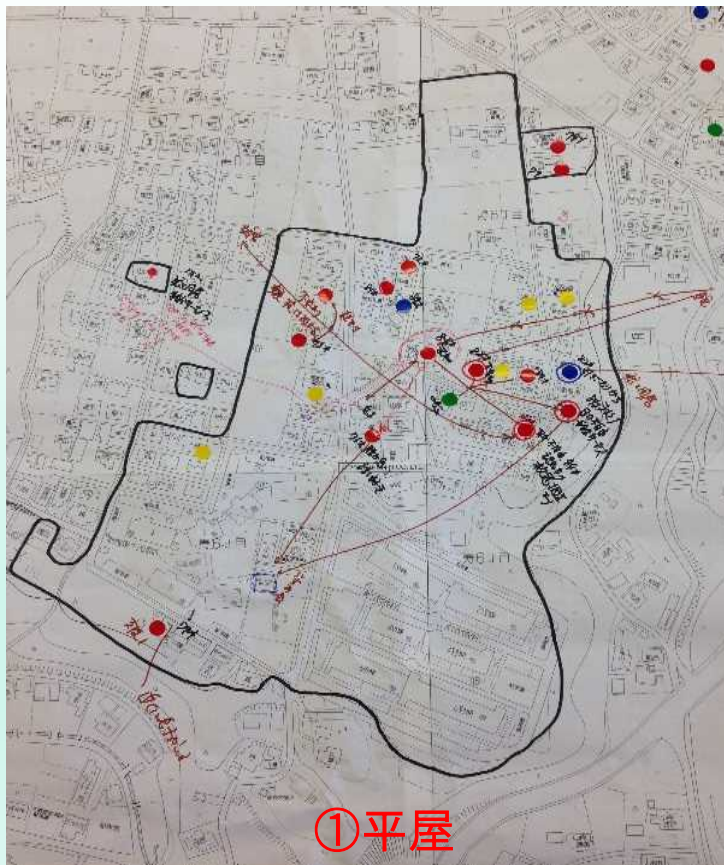


・「困りごとがある」「孤独感を感じる」との回答が多かった

・見守り活動を積極的に利用したいとの声も多かった

支えあいマップづくり①

①平屋 ②市営住宅 ③県営住宅 の3地域に分け実施



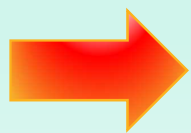
支えあいマップづくり②

・みんなの頭にある情報を1つのマップに落とし込み、共有できた。

・自分の町内でどのような人のつながりがあるかを確認できた。

・子どもと住んでいても、日中1人でのいる方や若い障がい者の方を把握できた。

・課題解決の一つとして、既存のサロンに加え、見守り隊の発足に向けて動き出す。



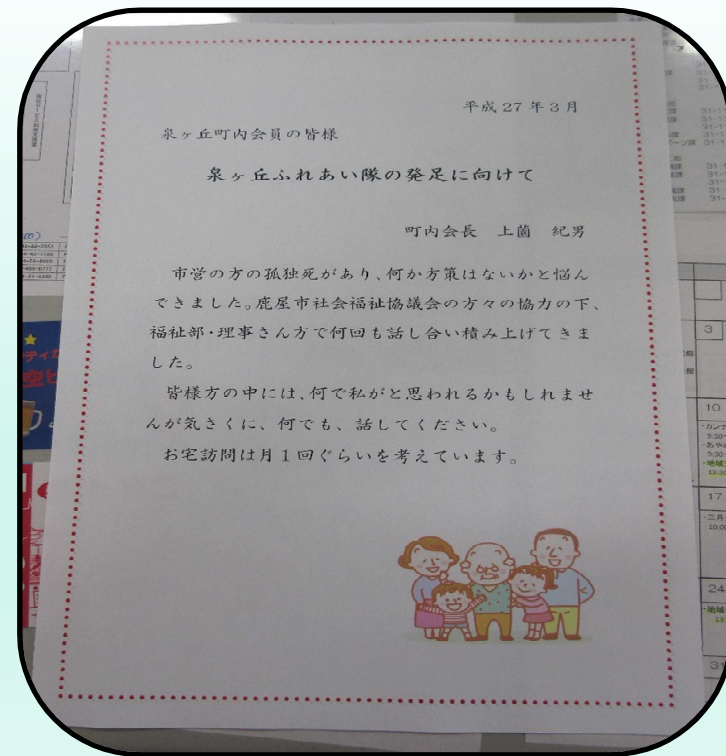
24名（変動あり）の対象者に対し10名で見守る体制に！！

名刺代わりにの工夫

←ポケットティッシュ



↓チラシ



サロンいずみ会



月に1回おひとり暮らしの方を中心に集まり、不足しがちな野菜をふんだんに使った季節のものをみんなで食べたり、小物作り等を行っています。

健康や料理や昔話などいろいろな話に花が咲き、時間を忘れて過ごしています♪



一五会（高齢者クラブ）

- クラブの活動以外にも、町内会活動の支援の中心になっています。
- 毎月15日にグランドゴルフをした後に、交流会（早く言えば飲ん方）500円会費で、料理は持ち寄り、漬物をつけてくる男性も！！

→毎月15日が待ち遠しい！！



町内の全ての方が交流できるイベント

• ソーメン流し



• 十五夜、大人対子どもの綱引き



• 餅つき大会



助け合いが生まれるには、まず地域にどんな方が住んでいるかをお互いが知る事。

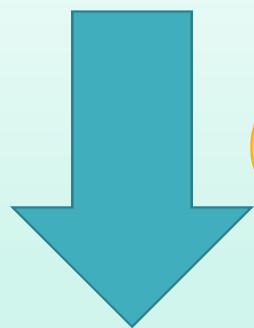
→他人事を我が事として考える第一歩

新たな取り組み

ゴミだし等のちょっとした困りごとのニーズに対し、町内で解決できないか検討



生活支援コーディネーターと町内完結型の生活支援の取り組みを話し合う



話し合いは夜に行われるため、毎回民生委員さんが夕食を準備して下さり、みんなで食べます。この心遣いが、楽しく続けられる秘訣かもしれません！！



町内有志でボランティアグループ「泉ヶ丘きばいもんそ会」を発足



ちょっとした困りごと
教えてください！

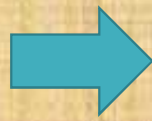
泉ヶ丘きばいもんそ会がお手伝いします！

泉ヶ丘 きばいもんそ会とは？

ゴミ捨て場にゴミを持っていくのが大変…
電球交換の手伝いがほしい…
簡単な庭仕事を手伝ってほしい…等

泉ヶ丘に住んでいる方々のちょっとした困り事を泉ヶ丘の有志達が安
価でお手伝いします。

**まずはお電話
ください**



**泉ヶ丘の仲間
が伺います**



**内容に応じ
てお手伝い
します**

【受付】 平日9時～15時

【電話】 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

支援内容



金額	時間の目安	お手伝いメニュー
300円	30分程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出し（月単位） ・おかずの提供 ・簡単な裁縫 ・電球交換、電化製品の取扱い ・屋内の家具の移動（1人当たり） ・書類の代読・代筆 ・簡単な掃除
600円	1時間程度	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な庭仕事 （草取り、水まき、種まき・定植等） ・簡単な剪定 ・簡単な大工仕事 ・病院付き添い ・話相手、子守り



※事前にたすけあい券の購入が必要（10枚綴1,000円分）

※会費（初回のみ）

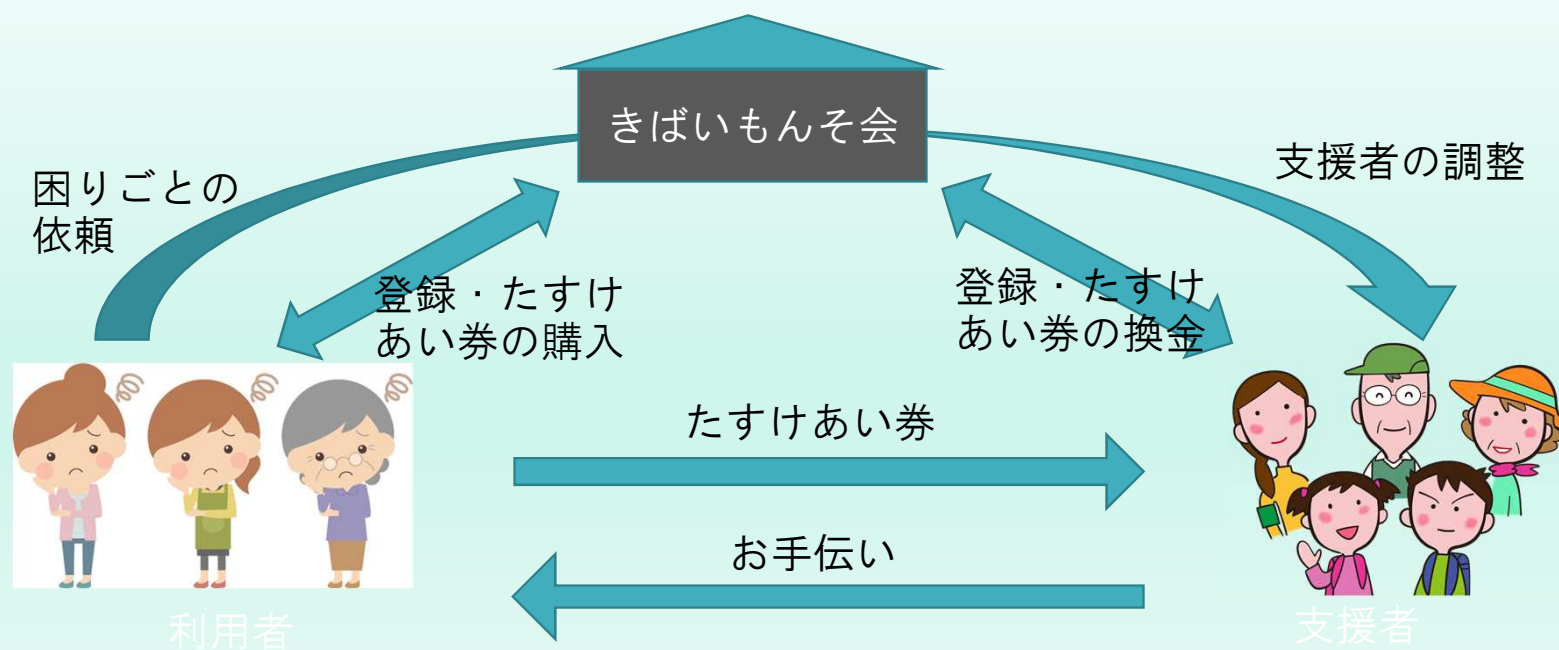
- ・町内会員 300円
- ・町内会員外 600円

町内会への加入促進も狙います！！

支援体制等

平成30年5月20日現在

項目	利用者	支援者
登録者数	21人	14人 (男8人、女6人)
登録状況	42歳～92歳	12歳～85歳



開所式(H30.5.20)

表紙の写真から2年
...応援して下さる方
が増えています！！



平成30年度の実績

月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	3	2	6	2	2	5	5	8	6	4	45

多

【主な依頼内容】

- ・ 庭木の剪定・草刈
- ・ 見守り
- ・ ごみ出し
- ・ 犬の散歩
- ・ 衣替え
- ・ 神棚撤去など



今後の目標

青壮年部を作り、若い世代を引き込むこと！



地域の仲間の為に
きばいもんそ！（頑張らしましょう！）



「鹿屋市白寒水サロン」
多文化交流サロン

白寒水町内会の概要

【人口等】

- 人口 : 175人
- 65歳以上 : 78人
- 高齢化率 : 44.6%
- 世帯数 : 99世帯

(R1.6.30現在 / 鹿屋市ホームページ)

【特徴】

- ・幹線道路から入り込んでおり、人家が点在している。
- ・芋畑がたくさんある。
- ・池があり、キャンプ場も併設

下小原池公園キャンプ場



白寒水サロンについて

【開催場所】白寒水公民館

【参加人数】7名

【開催日時】月1回～2回

【活動内容】健康体操、笑いヨガ、レクリエーション、食事会



サロンを運営するうえで困ったこと



- ・参加者が高齢のため、年々足腰が弱ってきている。
- ・公民館までは、距離があるのでサロンに参加したくても自分で歩いていくことが難しい。
- ・サロン同士の仲間で、車の送迎を考えたが、運転手も高齢のため事故が不安

困りごとの解決策



- ・地元の高齢者福祉施設にサロンの送迎を月1回程度お願いできないか相談
- ・サロン代表者と福祉施設と社協の3者で協議
- ・施設側の理解を頂き、試験運用から本格実施までを実現



さらに一歩ふみこんで（サロン代表者の思い）

- ・最近ベトナム人を良く見る。
- ・地元の養鰻組合の技能実習生らしい。
- ・せっかく同じ集落に住んでいるのだから、交流ができないか。⇒同じアジア人じゃないか！
- ・施設のサロン送迎（初回）を開始式にして、ベトナムの技能実習生達を招待しよう。



みんなでテープカット
(平成30年4月7日)



施設のバスで送迎



ベトナム料理を堪能！



レクで交流！

多文化交流サロンのその後

- ・毎月1回交流会を継続
- ・ベトナム人技能実習生とサロン参加者等が、回を重ねるごとに親しくなる。
- ・地域住民と実習生の相互理解が促進される。
- ・今年の9月に実習生2名が、3年間の期間を満了し国に帰るため、お別れ会をすることに…

6 ドラえもん
 ドラえもん
 ありがとうごさいました。
 →
 1 あいさつ
 2 ありがとう
 3 がんばり
 4 ごちそういただきませす
 5 うたおどりダンス
 6 ラストダンス
 7 かたづけ
 8 きをつけて
 9 したるじき生き甲斐



会次第と実習生が書いたドラえもん



楽しく会食！



盛りだくさんの食材です



9月に卒業する実習生
とサロン参加者

多文化交流サロンと関わって思うこと

- ・少子高齢化が進行し人口減少が進むなか、外国人材の受け入れが大きな議論を呼んでいる。
- ・これには、地域における多様性を受け入れ、少数派を排除しない気運の醸成が不可欠となる。
- ・この取り組みは、地域共生社会の実現に向けて、一つのモデルになるのではないだろうか。